



助け合いのまちを目指して

～長久手サポートプロジェクト～



問 地域共生推進課 ☎56-0551

詳細はこちら



長久手サポートプロジェクトが始動しました!

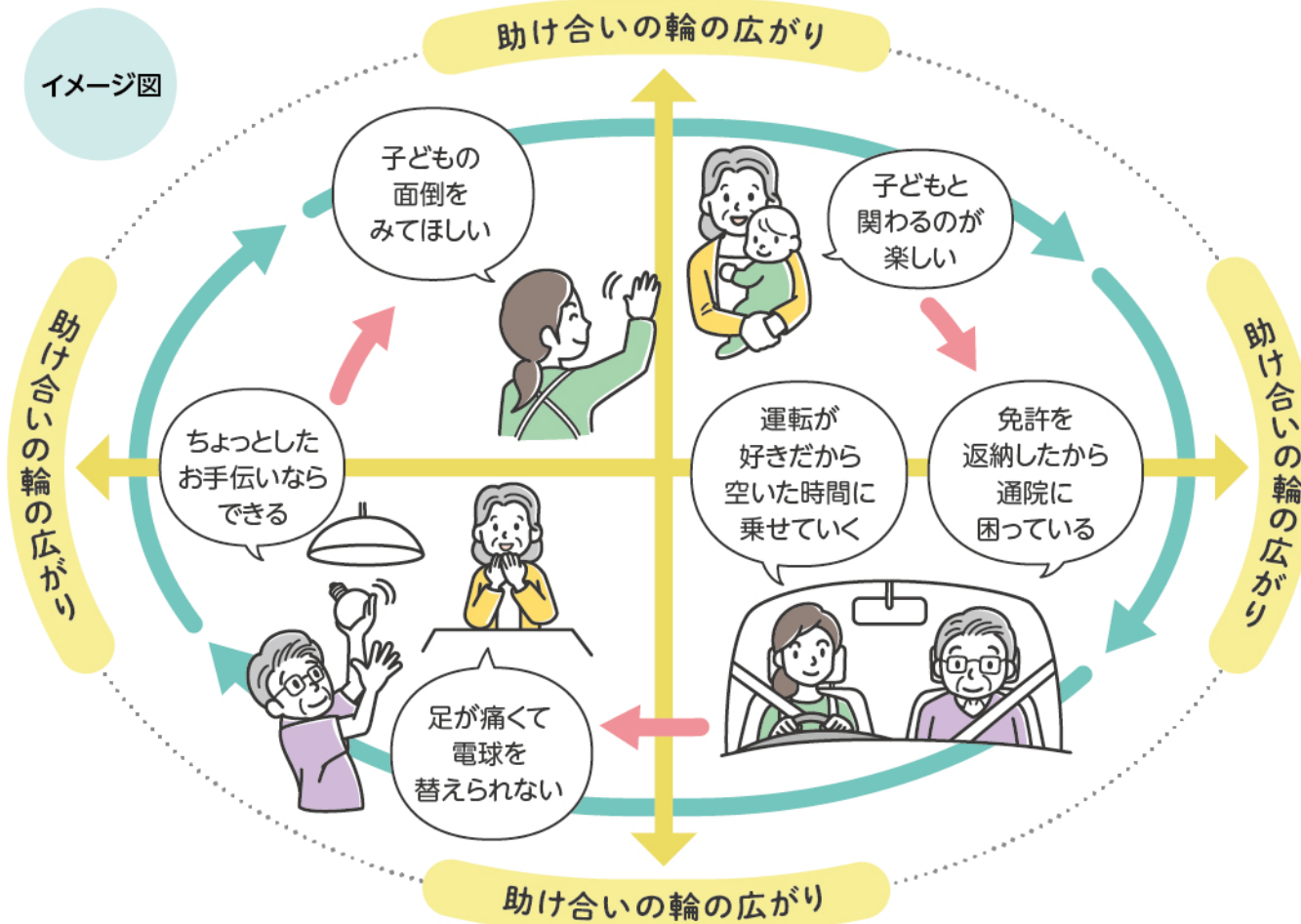
誰もが助けを求められることができ、誰かの助けになることができる、そんな輪が広がる助け合いのまちにしていこうと「長久手サポートプロジェクト」が立ち上がりました。

本プロジェクトでは、現在「たすけあいカー」「ファミリー・サポート」「ワンコインサービス」の3つの取り組みを行っています。いずれも支援者のできること、好きなことで参加したり、自分のできないことを助けてもらったりして、困りごとの解決が図られています。

今後は各取り組みが横断的に連携し、支援者の掘り起こしおよび相互協力を進めるなどして、助け合いの輪を広げていきます。



イメージ図



市民のみなさんへのお願い



助け合いのまちは、助けを求める人に対して、助けになりたいと思う人がいて初めて成り立ちます。「あの時、あの人に助けられたから、今度は誰かの助けになりたい。」その気持ちがあれば、きっと誰かの助けになれる。

できること、好きなことから誰かを助ける活動を始めませんか?

ワンコインサービス

問 長寿課 ☎56-0639
NPO法人つづら ☎78-2043



日常のちょっとした困りごとを“おたがいさま”の気持ちで地域で助け合います。

対 支援者要件 原則おおむね60歳以上の市民等3人で構成するグループ(60歳未満1人でも登録可。詳細は長寿課またはNPO法人つづらへ)

申 申請書を長寿課またはNPO法人つづらへ提出



支援者の声

ワンコインサービスの仕事で嬉しいことは、週1回か2回のごみ出しなどで顔を合わせていると、いろいろなことをお話してくれることです。買物代行などは、利用者さんの意に添えているかとドキドキすることもあります。が、「ごころうさま」と声をいただくと一安心です。

ファミリー・サポート

問 ながくてファミリー・サポート事務局 ☎64-5280



子どもの送迎や預かりなどで、子育て世代を手助けします。

対 支援者要件 市内在住で子育ての手助けをしたい人
申 事務局へ電話で申込(事前に登録講習会の受講および会員登録が必要)



支援者の声

小学生の娘が2歳の子を預かる日を待ち焦がれていました。一人っ子の娘はお姉ちゃん振りを発揮し、夫もいつしか抱っこや高い高いをしたりと、家族の意外な一面を発見。みんなで心の底から笑ったこの日は「楽しかった」の一言。私たち家族が幸せを分けていただいた時間でした。

たすけあいカー

問 社会福祉協議会 ☎62-4700



移動に困っている高齢者を、有志のボランティアドライバーが送迎します(市街地から離れており住民も高齢化している「長久手ニュータウン」で実証実験中)。

対 支援者要件 普通自動車の運転ができる人
申 社会福祉協議会へ電話で申込



支援者の声

車内で利用者の方の会話を聞きながら楽しく運転しています。公共交通機関との共存連携が可能な交通手段として、多くの人に利用してほしいと思います。

私の父がワンコインで助けていただいたので、自分でもできる車の運転で誰かの助けになりたいと思い取り組んでいます。たすけあいカーの運転を通して地域の人と新しいつながりが生まれていて、自分の大切な生きがいの一つとなっています。